



第40回カンサーボード開催のお知らせ

お問合せは・・・
がん7口
川上(内線2623)
経営企画
水野(内線2807)

日時:平成21年10月20日(火)
18:00-19:00

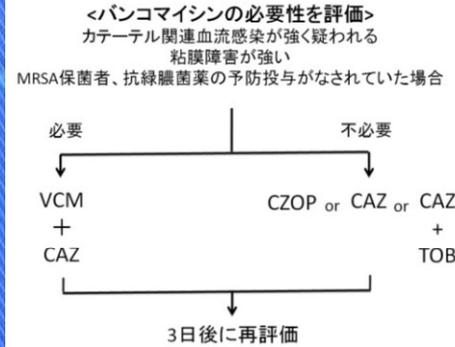
今回は、50名の方
にご出席いただき
ました。ありがとう
ございました。

場所:附属病院4階 第1会議室
テーマ:進行胃癌に対する集学的治療
(消化器外科)より

第39回カンサーボード報告 「がんと感染症」(リウマチ・血液内科・感染症)

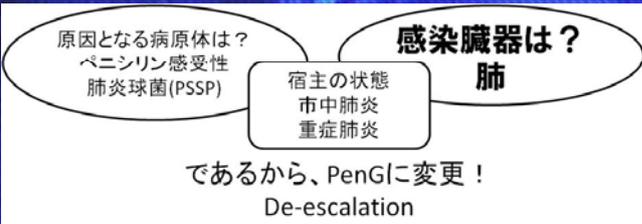
感染症部門としての取り組み

一般感染症として、神奈川若手医師感染症セミナー主催・感染症科コンサルテーションマニュアル発行・院内コンサルテーション業務を、特殊感染症として、HIV感染症診療・旅行者感染症診療を行っている。



がん患者の 感染症診療 マニュアル

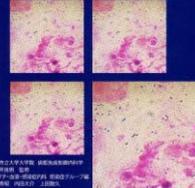
編集
神奈川がんセンター 感染症科
川上 寛夫・水野 聖樹
上田 寛弘・藤田 崇徳
南山堂



やみくもな抗菌薬使用は・・・
薬剤熱・薬剤性肺障害
院内発症の不明熱の最頻が薬剤熱
抗菌薬・抗痙攣薬・抗不整脈薬が多い
偽膜性腸炎の危険因子
ESBL、AmpC等の耐性菌出現の危険因子
などの危険がある。

感染症科コンサルテーション マニュアル 2008

適切な感染症診療のマネジメント
と
感染症科コンサルテーションのための指針



がん患者の感染症 好発部位

	血液疾患	固形がん
肺炎	38%	26%
血流感染	35%	20%
尿路感染	11%	22%
皮膚軟部組織	6%	17%
消化器	6%	10%
他	4%	5%

様々な抗菌薬が投入されたことに細菌側が反応して、ペニシリン系のみならず、セフェム系などβラクタム環構造の抗菌薬全般を基質として広範囲に網羅する「βラクタマーゼ」産生菌が出現

ESBL(Extended Spectrum of βLactamase)

ESBL産生菌による感染症治療ではカルバペネム系抗菌薬が最も信頼できる。

不適切な抗菌薬選択例では、担当医の認識不足(無知、誤解、検査結果未確認など)に起因するケースが多い。

「ESBL産生菌」に関する知識および適切な抗菌療法の普及が必要である。

不明な点があれば感染症科へコンサルトを！